

- 1 日 時 令和元年（2019年）5月29日（水）14時00分～15時00分
- 2 場 所 平沢児童館
- 3 出席者 都市計画部 部長、次長
公有地利活用推進課 課長、課長補佐、係長
教育局教育総務課 課長、係長
一般財団法人21世紀教育会 常務理事、評議員
- 4 参加者 9名

5 内 容

(1) 説明内容

山口小学校跡地利活用（案）について、別紙説明会資料を用いて説明した。

(2) 質疑・意見交換（○：市、●：参加者、△事業者）

- IS 値 0.57 は震度いくつぐらいで影響が出るのか。
→○耐震基準の IS 値 0.6 は震度 7 の地震の際に倒壊の危険性が低いという値になる。実際には震源地からの遠さや深さ、地盤などによって被害は異なる。体育館は新耐震基準。
- 現在、山口小はどれぐらいの教室を使っているか教えてほしい。
→○職員室、視聴覚室、CAI 室の 3 室を地元が使い、1 室を文化財課が使用している。
- 21 世紀教育会ではどれぐらい使うのか。
→△教室は月に 2～3 回。土日（基本土曜日）に使用したい。平日夜に実施する必要がある場合はほかの場所で実施する予定。
- 山口小学校を利用するためにどうやって借りたらいいかわからない。
→●市と山口区会、平沢区会で覚書を結んで区会の集会所として借りている。平沢区会で何かやりたい場合は借りることができる。知らない人もいたので周知したい。21 世紀教育会の利用が始まる際には鍵の管理についても協議したい。
- 個人で借りることができるようになるのか。
→○市が施設管理者であるため、直接個人に貸すことはない。市としては平沢、山口の区会と 21 世紀教育会に貸すことになる。個人使用の問い合わせがあっても受け入れない。グラウンドは開放しており、小学生等が使えるようになっている。

- 避難所であるため、山口小学校に防災備品の備蓄をしてほしい。
→○筑波地区学校跡地には防災備品の倉庫を置いたが、その時点で廃校となっていた山口小学校には設置されなかった。大池の研修センターが避難所になっており、防災備品の備えがある。ただし、住まいから近いところに避難所があるほうがよく、安否確認は山口小学校グラウンドを使ってできるが、避難生活をおくるには、研修センターに行く必要がある。
- 地域との交流や子供たちとの交流をどうするつもりか。
→△子供たちへの読み聞かせやスポーツマナーキッズの講座などをしていけると思う。生涯学習として健康教室などもできれば。
- 教室を使うに当たっては、今のままではホコリなどで汚れていてそのままでは使えないと思うが掃除をおこなうつもりか。
→△使う先生たちが掃除を行う。

以 上